

音楽科学習指導案

授業日時 令和元年 9月9日(月) 第4校時
授業学級 2年D組 男子19名 女子21名 計40名
授業会場 音楽室
授業者 _____
指導教員 _____

- 1 単元名
曲の構成に注目して曲想の変化を味わおう (2年 鑑賞『交響曲第5番 ハ短調』)
- 2 本時の主眼
『交響曲第5番 ハ短調』を作曲したベートーヴェンについて学習する場面で、彼の生い立ちや手がけた楽曲について知ることを通して、ベートーヴェンについての理解を深めることができる。
- 3 本時の位置 (全3時間扱い中 第1時)
＜前時＞なし
＜次時＞交響曲第五番を聴き、使われている楽器に注目し、オーケストラやソナタ形式について学ぶ。
- 4 指導上の留意点
・耳が聞こえにくいという状態が想像しづらい生徒もいる可能性があるため、難聴の状態を体験するという活動を取り入れ、ベートーヴェンの作曲における苦労をより強く感じることができるようにする。

5 展 開

過程	学習活動	予想される生徒の反応や意識 (◎)	教師の支援 (・) と 評価	時間
導 入	1 ベートーヴェンが作曲した曲の一部分の演奏を聴き、気づいたことを挙げる。	◎どちらもどこかで聴いたことがあるよ。 ◎CMで流れていた。 ◎二曲とも作曲したのが同じ人なんじゃないかな。 ◎二曲ともベートーヴェンが作った曲だよ。	・ピアノソナタ「月光」第一楽章の冒頭部分と、ピアノソナタ「悲愴」第二楽章の冒頭部分をピアノで演奏し、二曲の共通点がどのようなものかについて問いかけることで、この先のベートーヴェンについての学習に意識を向けることができるようにする。	5分
	2 ベートーヴェンの肖像画を提示し、彼に対するイメージを挙げる。	◎たしか耳が聞こえなかったんだよね。 ◎トルコ行進曲を作った人だよ。 ◎なんだかすごく厳しい人に見えるなあ。 ◎お風呂に入っていないさそう。 ◎怖い人だったのかな。	・ベートーヴェンの肖像画を提示し、生徒が持つベートーヴェンに対するイメージを引き出すことで、ベートーヴェンが本当はどのような人物であるのかについて知りたいという意識をもつことができるようにする。	5分
	学習課題 ベートーヴェンがどのような人物であったのか知ろう！			

